

早島町 議会だより

平成30年 第62号
12月1日



Contents

- 新体制スタート 2～3 P
- どう考える、災害に弱いまち早島 4 P
- すすむ老朽化、かさむコスト 5～6 P
- 町政の諸問題を問う 8～17 P
- 待ってます！あなたの投稿 18 P

親子で楽しむ秋晴れの日（生涯学習まつり）

早島町議会 新体制でスタート

議長に船越健一議員、副議長に真鍋和崇議員

8月26日に執行された早島町議会議員選挙で10人が当選。前任期満了前日の9月12日、佐藤政文議員急死の訃報が飛び込んでまいりました。志半ばにしての早すぎる旅立ちに、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に、10名の議員で『理想の早島町の実現』にまい進する所存です。

議長・副議長あいさつ



船越 健一

皆様には、平素より町議会へのご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、議長を拝命することになりました。その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。議長として公正かつ円滑な議会運営に努めてまいります。

少子高齢化、人口減少の社会現象の中、財政状況をしっかりと鑑み、日々変化する町民のニーズを的確に把握して町民の皆さんの快適な暮らしを最優先に二元代表制のもと、全力で取り組む所存でございます。

今後とも一層のご理解・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

副議長に選任されました真鍋和崇です。

先の町議選では投票率が9%以上も低下し「議会での活動をもっと知らせてほしい」「もっと町政にはつきりと言えらる議会になってほしい」など議会改革を求める声が多く寄せられました。

議会では、9月議会最終日に『議会活性化特別委員会』を設置いたしました。

議長・同僚議員のみなさんと力を併せ、町民の皆様の切実な声を町政に届けるとともに開かれた議会をつくるため、議会改革を進めていく決意です。

皆様のより一層のご指導・ご鞭撻をいただきますよう心よりお願い申し上げます。



真鍋 和崇



9月25日に改選後の初議会を開催し、議長・副議長の選挙、常任委員会委員等の選任を行い、新しい体制がスタートしました。



総務厚生常任委員
船越健一

- 【地域】若宮
- 【趣味】ガーデニング、山野草・バラ・菊の栽培
- 【特技】山野草の栽培
- 【一言】子そだてしやすい町をつくる。



総務厚生常任委員
議会運営委員
議会広報特別委員
議会活性化特別委員
真鍋和崇

- 【地域】備南台
- 【趣味】子ども達と遊びに行くこと・読書・映画鑑賞
- 【特技】弓道初段
- 【一言】この町が好きだから一人ひとりに心を寄せて住みよい早島をつくるために皆さんと一緒ががんばります。



建設文教常任委員
議会運営委員
▲議会広報特別委員
平岡 守

【地域】若宮



総務厚生常任委員
古田敬司

- 【趣味】釣り、旅行、ドライブ
- 【特技】無線技術(アマチュア無線等)、音響技術
- 【一言】賑わいと活気のあるまち。人との繋がりを大切に、心の通うまちづくりを目指します。



建設文教常任委員
議会運営委員
▲議会広報特別委員
佐藤智広

- 【地域】ニュー早島
- 【趣味】アウトドア、ゴルフ(スコア100)、山歩き
- 【特技】剣道初段
- 【一言】皆様と共に「活力と思いやり社会の創生」を目指して一杯ががんばります。



建設文教常任委員
▲議会広報特別委員
佐藤智広

- 【地域】長津・畑岡
- 【趣味】アウトドア、旅行、音楽鑑賞
- 【特技】料理
- 【一言】山田方谷先生のご精神

- 【地域】長津・畑岡
- 【趣味】アウトドア、旅行、音楽鑑賞
- 【特技】料理
- 【一言】山田方谷先生のご精神



総務厚生常任委員
議会運営委員
▲議会活性化特別委員
細田貴道

- 【一言】『至誠惻怛』まごころ(至誠)と、いたみ悲しむ心(惻怛)があれば、やさしく(仁)なれます。

- 【地域】塩津
- 【趣味】読書、観劇、音楽鑑賞
- 【特技】ギター、ベース
- 【一言】住みやすさ日本一の町を作りましょう。



建設文教常任委員
▲議会活性化特別委員
佐藤辰美

- 【地域】無津
- 【趣味】釣り
- 【特技】卓球
- 【一言】日本一の議会を目指す、一員となります。



建設文教常任委員
▲議会活性化特別委員
林 郁夫

【地域】矢尾



建設文教常任委員
議会広報特別委員
▲議会活性化特別委員
根木 一

- 【趣味】日曜大工
- 【特技】一級土木施工管理技士
- 【一言】町民の誰もが、自信をもって『早島の良いところ』を紹介できるような町をつくりましょう。

- 【地域】ニュー早島
- 【趣味】城めぐり・読書
- 【特技】宅地建物取引士
- 【一言】安全・安心のまちづくりを目指します。



総務厚生常任委員
議会運営委員
▲議会広報特別委員
▲議会活性化特別委員
佐藤博文

- 【地域】前潟
- 【趣味】読書、ノルディックウォーキング、アメフト観戦
- 【特技】珠算2級
- 【一言】100年後も早島町として孫、曾孫まで安心、安全に住めるしつかりした街づくりの礎を築きたいです。

※各委員会の◎は委員長、▲は副委員長です。

平成30年度9月議会

災害から町民をまもる町早島に

豪雨災害対応予算、浸水対策のための樋門建設等の契約が議決

西日本豪雨災害で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。早島町内では床下浸水51件、土砂崩れ19件などの被害が報告されました。周辺市町と比較し被害は少なかつたものの、大雨や水害に弱い町という早島の弱点が改めて浮き彫りになりました。

平成30年度9月議会では、西日本豪雨災害の復旧・修繕に係る補正予算などが議論されました。

また今後の災害に備えた予備費750万円の積み増し、浸水対策を目的とした大川樋門設置工事など、13議案が議論され議決されました。

また平成29年度一般会計決算など7認定案が決算審査特別委員会に付託され活発な議論がかわされました。

— 主な議案 —

● 専決処分

豪雨災害に伴う避難所応援などのために深夜勤務を行った職員への夜間勤務手当の支給を行うための条例改正

● 町税条例の改正

地方税法改定に伴いたばこ税等の改正

● 職員の給与等に関する条例の改正

大規模災害が発生した際、中長期的な職員派遣を受け入れた際の災害派遣手当の支給等を行うための条例改正

● 平成30年度補正予算

災害により損壊した町道や水路の復旧

● 修繕費等の補正予算

● 契約工事

大川樋門設置工事に伴う契約議決

教育委員の選任について 同意

栗坂 祐子氏

9月定例会 採決状況

議案	平岡 守	古田 敬司	佐藤 智広	真鍋 和崇	細田 貴道	佐藤 辰美	林 郁夫	根木 一	佐藤 博文
認定案第6号 平成29年度早島町 公共下水道事業 特別会計歳入歳出 決算について	○	○	○	○	○	×	○	○	○

議会活性化特別委員会を設置

議会改革を進めていくため、6名の議員で議会活性化特別委員会を設置しました。

(委員はP3を参照)

【29年度決算審査】

すすむ老朽化、かさむコスト

観光センター、小・中学校、公民館…
公共施設の管理・運営どうする

決算審査特別委員会は10月2日・3日の日程で開催され、2日間にわたり活発な議論が交わされ、一般会計、特別会計など7認定案を認定しました。（主な質疑は次の通り）

一般会計

観光センターの今後の運営は

Q：観光センターは毎年約1500万円の経費を支出している。今後の運営方針は。
A：町管理によるサービスの限界を感じる。



テナント店舗の撤退で今後の運営が問われる。

今年度、サウンディングによる市場調査を実施したが応募少数であった。
今後は機能の縮小等、運営体制の見直しを行っていく。

小中学校の老朽化
今後の方針は

Q：小・中学校は築40～50年経過しており、経年に伴って毎年多額の修繕を必要としている。
トイレの洋式化等を行っているが、施設管理の方針があるのか。
A：一貫校舎による義務教育学校などを検討している。今年度中には方向性を決め、議会に提示する。要望 衛生面など最低限必要な修繕は行いつつも、早急に方針を定められたい。

公民館建設計画の検討状況は

Q：公民館建設の検討状況はどうなっているのか。

また検討委の委員をなぜ公募しなかったのか。

A：各団体の代表者等で構成し、理想の在り方について検討している。今後パブリックコメント等で広く意見を聞く機会を設けていく。



建設から約50年が経過し、検討が進められている。

特別旅費の大幅な増額
なぜか

Q：特別旅費とはなにか。
A：町三役と一般職員の県外出張などの旅費。

Q：町長の県外出張が昨年度より大幅に増えている。また『東京方面出張』などと不明確な出張理由が記載されている。
A：必要であるため都度支出した。記載については改める。



築40～50年が経過しており、29年度教室の改修等の施設設備610万円を支出。今後の管理の在り方が問われる。



国民健康保険特別会計

国保負担軽減策が必要では

Q…早島町は30年度に税率改定を行った。恵まれた医療環境の中で、療養を目的として早島に住所をおく人もいる。

現在は（一般会計からの）法定外繰入を行っておらず、町全体で福祉をまかなうという視点で法定外繰入によって負担軽減をはかるべきではないか。

A…特別会計は独立採算性を持たせる必要があると考える。



特定検診の受診率は37.1%（前年度34.2%）
国保の負担軽減のためにも、健康づくりの増進と特定検診の受診で病気の早期発見早期治療を。

その他、議会が注目した主な予算

公共下水道特別会計

コンサルタントにどのような計画が委託されているのか

Q…ストックマネジメント計画について聞きたい。

A…計画的・効率的な維持管理を目的として、平成32年度まで実施し、下水道施設の健全度を把握する。



コミュニティバス運行事業約2,830万円



児童館運営事業2億7,071万円
(児童館や学童保育の運営に係る費用)

水道事業会計

水道の更新・耐震化のために

Q…料金回収率はどの程度改善されたか。

A…回収率は3%程上がり、86%になった。今年度料金改定を行い、今後、更新・耐震化を進めていく。今後事業を継続していくためには引き続き、料金の見直しが必要。



久々原駅トイレ整備事業243万5000円



町内防犯灯LED化事業約778万円
(導入のための調査委託等)

借金（町債）

- ・一般会計・地方債
- ・公共下水道・地方債
- ・水道事業・地方債

計68億4899万円

(前年比 - 2億3969万円)

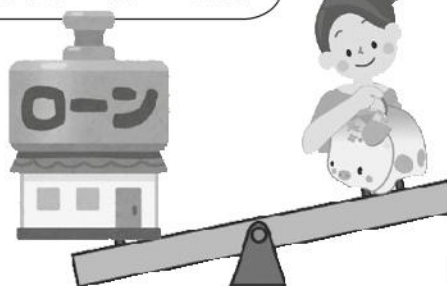
貯金

(早島町の基金)

- ・財政調整基金
- ・公共施設等整備基金
- ・減債基金
- ・福祉基金
- ・特定寄付運用基金
- ・国民健康保険特別会計基金
- ・介護給付費準備基金
- ・土地開発基金 など

約23億6224万円

(前年比 - 2,371万5千円)



【討論】

公共下水道特別会計
歳入歳出決算について

反対…佐藤辰美 委員「設計工事について設計業者の選定方法が納得できない」
賛成…細田貴道 委員

「予算の支出そのものについては法に基づいて適切に行われている」

今後の災害に備え、予備費750万円を補正

〔総務厚生常任委員会〕

議案審議の主なもの

Q…職員給与等に関する条例の一部改正は。

A…大規模な災害が発生し、本町に中長期的職員派遣を受け入れた場合、当該職員に災害派遣手当を支給するため。

災害派遣手当の日額は6620円を越えない範囲で定めるとなっている。

Q…地方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正は。

A…地域再生法の一部を改正する法律等の施行に伴い、特例適用の期間延長及び引用する関係条例等の整備のため。

Q…積極的に企業誘致を実施しているが、現在と今後の見通しは。

A…この法令は、東京等から早島町に本社機能が移転するものに適応するものであり、現在もこれからも、想定しがたい。

Q…一般会計の予備費の補正で、金額が750万円しか上がっていない。7月の災害の時は100

0万円以上掛かっており、これからの台風シーズンを考えると、少ないのでは。

A…当面は、750万円を見ているが、災害が増えた場合は、専決としたい。

全会一致で可決

総務厚生常任委員会に付託された、条例案2議案、一般会計補正予算（歳入全般・総務費・衛生費・消防費・予備費）、国民健康保険特別会計補正予算の4議案は、原案通り可決された。



大雨による2号線隧道の浸水

テニスコートの修繕費2160万円はスポーツ振興くじの助成対象外。

〔建設文教常任委員会〕

議案審議の主なもの

Q…公園費はなにか。

A…ふれあいの森公園の草刈りなど。

Q…イトーピア団地は入っているのか。

A…イトーピア周辺の木々の枝が民地を越境しているため、それらの伐採も含まれている。

Q…農地費は何か。

A…樽島団地の南、水路の護岸30mの修繕。コレクティブタウンの中、かんだ保育園上の法面約30m。町内立地企業隣地の法面約4m。

Q…深砂テニスコートの改修は人芝以外も考えているのか。

A…アンツーカーも検討したが人芝が良いと考えている。

Q…当初テニスコートの助成金としてスポーツ振興くじを予定していたが対象とならなかったのはなぜ。

A…深砂公園のテニスコートは1816㎡で対象は2000㎡以上となっていたため。

Q…事前確認ができていなかったのでは。

A…今後はしっかり確認する。

Q…このテニスコートは一般競争入札でと聞いているが施工管理がしっかりできる業者をお願いしたい。

A…一般競争入札の中で条件を整理して安心できる業者をお願いしたい。

全会一致で可決

建設文教常任委員会に付託された、一般会計補正予算（農林水産業費・土木費・教育費）、公共下水道事業特別会計補正予算の2議案は、原案通り可決された。

陳情

陳情第1号教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2019年度政府予算に係る意見書採択の要請についての陳情

【採択】

質 問 一 般



真鍋和崇 議員

問 1万²m²(県開発基準)以下の開発に雨水貯留施設の義務化を
答 実現にむけ努力したい



浸水被害が進む早島町内 (2018年7月)

西日本豪雨、情報発信の遅れに反省を

問 大型開発に浸水対策のための規制を。県開発基準以下の開発には雨水貯留施設設置義務化を求め。
答 町長 実現に努力する。岡山市を参考に検討を進める。

問 町公式ツイッターは全く発信されず、防災メールも町からは3回しか発信されなかった。要援護者への安否確認も行われなかった。原因は。
答 町長 一時すべてが混乱した。反省している。

問 浸水・通行止めの情報をホームページなどで発信してはどうか。
答 町長 発信のタイミングと職員の確保などの課題を整理したい。

浸水対策の面から水路整備を

問 前潟の水路整備は駅周辺の都市化の前に優先的に取り組むべきだ。雨水排除の対策として農業振興地域の水路整備

を。
答 町長 浸水被害軽減のため水路整備は行う必要がある。継続的に進めたい。

総合的な雨水排除の対策を

問 児島湖干潮時の水門開放まで持ち堪えるための総合的な検討が必要だ。
答 町長 調整池の検討等を行うとともに汐入川の整備を県に要望している。

防災対策に女性・子育て世代の参画を

問 防災計画の見直し、防災マニュアルの改定には女性、子育て世代の声を。
答 町長 重要だと考える。参加し一緒に考えてもらいた

震災対策・ブロック塀耐震化補助を

問 通学路沿線などの民地ブロック塀修繕補助の実施を。
答 町長 他の市町村の動向を踏まえて検討したい。

要望 町民を守るのほは他の市町村長ではない。安心し学校に通える環境を求め

その他の質問

- ◆ 保育園待機児童と保育料一部無償化について。
- ◆ 国保の負担軽減を求め。
- ◆ 『多様な性』への理解の促進を求め。

問 日笠山団地入口部交差点の改善について

答 2年後には着手できるように誠心誠意努力する



林 郁夫 議員

問 日笠山団地から県道に接続する交差点のすぐ北側には、上水道のポンプ場が出っ張っており、北側からの車両の確認がほとんど不可能だ。

県道を通過する車両の増加とスピード化に伴い、より危険な状態にある。

地域の皆さんが、日々利用する生活道路です。ポンプ場の撤去が困難であれば交差点の接続部分を南に移動する等早急な改善を。

答 町長 当該交差

点は、交通量も多く見通しの悪い交差点であり、道路管理者である岡山県や警察署と協議しながら段階的に進める。

問 どのような方法で、いつ頃から実施できるのか。

答 建設農林課長 ポンプ場撤去には、まだ10年程度かかるため、交差点の位置変更という方向で改善し、工程的なものについては、この場で約束できないが、2年後には、着手できるように誠心誠意努力する。

農業基盤整備の推進について

問 第4次早島町総合計画や早島町都市計画マスタープラン

においては、JR早島駅南の農地は、緑豊かな優良農地として位置付けられており、営農者からは、用排水路、道路等の整備が要求されている。このままでは、農地は荒れる一方だ。まず、町が強力なリーダーシップを取り、早急に農業基盤を整備することにより、農業効率の向上、農地利用の集積、意欲ある担い手の確保につながり、将来への展望を開くことができる。

答 町長 農業を継続する意思が3分の1しかない農業地域への農業振興をどう

やって行くか非常に難しい。用排水路については、久々原で実施しているような排水系統を準備していく計画である。また、農業用水路等の農業水利施設が将来にわたって、その機能を安定的に発揮していけるよう長寿命化対策や防災・減災

対策の補助メニューが新設されてきており、関係機関と協議しながら検討を進める。

その他の質問

◆町北部地域の交通渋滞対策について。



右からの車両確認がしづらい日笠山交差点



根木 一議員

問 高齢者等の要援護者を対象の個別計画の策定について

答 策定に向けて取り組んでいく

防災・減災対策

問 災害対策法の要援護者名簿の作成と、名簿を基に、個別計画の策定を問う。

答 町長 名簿については、70歳以上の世帯、要援護認定者等で、対象者は、約1400名、名簿登録者約900名、自

治体等に提供を許可する者は、400名

である。個別計画は、策定に向けて取り組んでいく。

その他、タイムライン防災、ハザードマップの見直し、防災ラジオ、地域防災計画の修正、液体ミルクの備蓄、防災士の増員等の質疑。

安全対策

問 津山市と、今年

の女児殺害事件で、下校時間に被害が集中しているなか、女性があん心して通行できるように、防犯カメラの設置について問う。

答 町長 町内に32カ所設置している。町が設置する防犯カ

メラは、このままでいきたいと考える。その他、町道の亀裂・陥没箇所の復旧、通学路の緊急合同点検結果と空き家やブロック塀の安全対策等の質疑。

子育て支援

問 産休後・年度途中に入社をするた

め、子どもを保育園の一時預かりを利用するが、費用は幼児教育無償化の対象とならないのか。また途中入園に対する考え方について問う。

答 町長 保育料を徴収し、通常保育を利用されている方との間で格差が生じるため無償化については、慎重に検討する。年度途中の入園についても各保育園と連絡を取り、人的確保

ができるよう取り組んでいきたい。

問 共働き家庭や一人親のために、春、夏、冬休み等1年生

から6年生までの子供を安全に学べる場について問う。

答 教育長 生活様式や働き方が多様化し、学校の長期休業中に子どもだけで過ごす家庭が増えている。

地域に子どもの居場所や学びの場を設ける。

置することは教育委員会も大切なことだと考えている。夏期には、4から6年生に、『わくわくサマーホリデー』を9時から12時まで実施している。共同・共学・教育の町作りを進めていく。

その他、病児・病後児保育所等を町内に設置の質疑。



わくわくサマーホリデー夏休みスペシャル子ども教室

問 町民のための防災対策は

答 町民の生命を第一に考え、必要な防災対策を実行する



佐藤博文 議員

町内の防災時の防犯「青パト」の活用

問 緊急防災時の災害支援として、青パトの活用も視野に入れてみては。

答 町長 まず町職員と消防団の活用を考え、足りなければお願いする。

「防災士」の活用

問 防災時に専門的知識をもった「防災士」資格の取得に補助金を出して、組織をつくることを検討

してみては。

答 町長 今まで以上に、専門知識を得た防災士認定者を増やす努力をする。

「防災無線」の活用

問 お金をかけた防災無線が豪雨などの災害時に、全く聞こえなく機能していない。

答 町長 町内の無線機の高さを変えたり、指向を変えたりして、聞き取りやすくするようにすぐに

でも取りかかる。

「防災マニュアル」の活用

問 危険を少しでも回避するために、立派な町の防災マニュアルを町民に認知してもらおうには。

答 町長 学校の授業などに取り入れ、幼小期より防犯意識を高め、危険を回避する能力を身につけてもらう。

庁舎内の活性化を「人事評価」の活用

問 人事評価を活用して、能力のある若手を抜擢して、町職員の活性化を。

答 町長 活用しているが、職員の活性化につなげていない。今後、若手の抜擢を

含めて、いろいろと検討していきたい。

「不祥事」に対する再犯防止策

問 昨年に発生した、町職員の不正に対して、しっかりととした再犯防止策を作られたか。

答 町長 第三者委員会等を設置するようにして、町職員の不祥事を未然に防ぎ

たい。

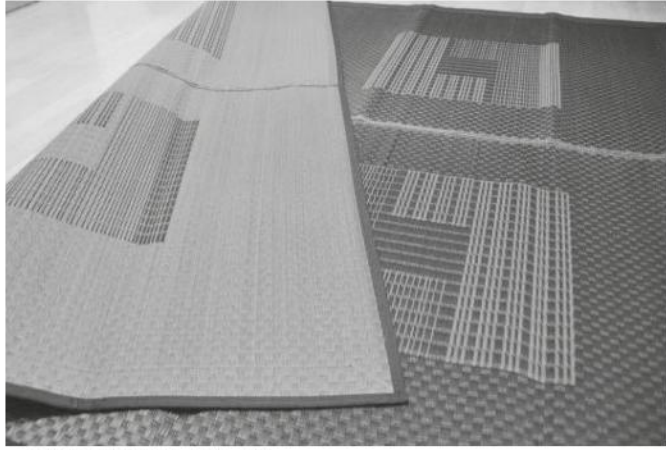
「庁舎内の研修制度について」

問 職員の能力向上のため『職員提案研修規定』があるが、提案したことがあるか。

答 町長 あることは知っていて、過去に一度提案されたことがある。どんどん活用してもらいたい。



実際に体験した東日本大震災の悲惨な現場



ふるさと納税返礼品の一部

問

ふるさと納税の増やし事業の拡大を考えてはどうか



平岡 守 議員

答

問 早島町では地元の特産品が少なく、制度を生かし切れていないと感じる。

答 町長 昨年度、岡山県全体で納税額約69億円。早島町では県下最低の422万円、

前年度比5%の減となっている。今後返礼品の内容を充実し、税金を増やすことを積極的に進めてはどうか。

答 町長 活用法について、新たな目標設定を行った上、ふるさと納税寄付金制度検討委員会で検討していく。

認知症について

問 認知症対策、認知症初期集中支援チームとは、認知症の専門医と医療・福祉の専門職がチームとなり、認知症の方、認知症の疑いのある方やその家族を訪問し、病院受診や介護サービスの利用支援を行うとされている。現在までの依頼状況はどうか、またこのチームを南岡山医療センターに委託しているが、費用等は。

答 町長 現在1件を支援中で、病院への受診につながり、介護サービスを利用している。

委託料は年間相談料14万8000円。訪問1回2万円。チーム会議1回2万3000円。

認知症高齢者、徘徊中の事故公費で保険加入出来ないか。

問 認知症高齢者の徘徊中の事故発生時に、家族が高額な損害賠償を請求されるケースが全国的に問題となっている。そのような事態に備えて、認知症の人を対象に公費で、民間の賠償保険に加入する自治体が相次いでいる。今後早島町においても検討、実施してはどうか。

答 町長 どのような補償が必要なのか、近隣の自治体の動向も見ながら慎重に検討する。

町議選の投票率について

問 今回の選挙では、過去最低の54・

19%と前回の約9%も下落、我々議員の問題もあるが、その他様々な要因があると感じている。選挙管理委員会では、投票に対する呼びかけは正しかったのか。また今後投票区の必要ない、期日前投票所の増設を考えてはどうか。

答 選挙管理委員会事務局長 防災行政

無線で、午前午後1回ずつ啓発、広報車の巡回はしていない。駅前で啓発を試みたが効果はなかった。

期日前投票所になると、長ければ16日間必要、そのような面から2号線北の施設確保が難しく、まだ踏み切れていない。

問 少ない予算で最大の効果を

答 一般競争入札を実施する方向で対策とする

少ない予算で最大の効果を

問 具体的な取り組みについて。

答 町長 公務員の基本原則であり、私も実行したいと思っている。職員を採用時にもそういう話をしている。

問 指名競争入札をやめて、一般競争入札を4月から導入するのか。

答 町長 方向的には、一般競争入札を実施する考えだ。



佐藤辰美 議員

災害・豪雨対策

問 町内の開発と豪雨による湛水能力の低下対策を問う。

答 町長 早島町では県条例を適用。1万㎡あり、岡山市でも独自の条例を制定しており、今後早島町独自の条例制定に向けて検討する。

ムダつかい



7月6日の豪雨による、浸水（道路、水路、水田の区分不明）



早島町で初めて避難指示が出た土砂崩落現場写真

行財政改革、課間で提案を出し合う

問 縦割り行政の弊害について。特に電気技術等。

答 町長 限られた職員数の中で、建設・下水道課で、兼務する体制で実施している。公文書管理条例

の制定について。

答 町長 公文書管理条例は未制定だが、文書取扱規定により文章を作成、保存している。

問 業務標準については。

答 町長 民間の業務と異なり、多様な事務業務がほとんどであり標準化は難し

いが効率化に向け努力する。

行政活動は起案文書が重要!



古田敬司 議員

問 夜間の移動は二次災害の恐れがあり危険だ
答 地区毎に緊急退避所の見直しを
お願いする

量調整したが、聞こえにくい場所があることは把握している。まずは宮崎地区でスピーカーを増設し、解消を目指す。また音声は屋外で聞くことを前提にしている。

問 煙岡山開発地から
用水路への土砂流出の調査・対策を

答 大雨により開発地南側用水路に土砂泥水が流れ込んでいます。至急、堆積調査を行い、業者への申し入れをすべき。



煙岡山開発地から用水路に土砂流出

問 土砂災害発生場所と類似する箇所
の再点検をすべき

答 町内で土砂崩れが16カ所発生した。土砂災害警戒区域に該当する地域は何箇所あったのか。

答 町長 警戒区域は11カ所あり、2カ所該当する。各地域、消防団と連絡を密にして地域の方と協議を行っていく。

その他の質問

◆避難行動要支援者の名簿の管理と地域との連携を。

問 避難勧告を行った時間帯は夜間であり、道路冠水による用水路への転落、崖崩れなど二次災害の危険がある。また県立支援学校は避難所に指定されているがなぜ開設されなかったのか。

答 町長 改めて地区毎に、地震・水害の場合に分けて、緊急退避所の見直しを
答 総務課長 支援学校は県の施設で開設に時間がかかるため、開設しなかった。

情報連絡体制の不備を問う

問 各地区で防災行政無線機を持っていない。連携不足であったことを感じている。
答 町長 連携不足であったことを感じている。
答 総務課長 無線機使用方法の出前講座に加え、定例の訓練も検討する。

問 防災行政無線の音声がかきこえない場所が多々発生したが対策は。
答 町長 スピーカーの角度変更、音量調整したが、聞こえにくい場所があることは把握している。

答 建設農林課長 堆積について一斉調査をしていく。

問 町内一円再点検すべき。

◆避難行動要支援者の名簿の管理と地域との連携を。

問 避難指示世帯の早期帰宅に向け公費負担の検討を

答 町としてフォローするが、民間での解決が原則



細田貴道 議員

問 7月の豪雨災害による避難指示継続中の一世帯の早期帰宅に向けた町の対応と今後の見通しについて問う。被災から3カ月が経過し、被災者の心身の疲れとストレスは極限に達している。町よりきめ細かな対応とケアが必要であると同時に、公費負担での撤去の決断もすべきではないか。

答 **総務課長** 保健師が週一回訪問し、状況の進捗があるごとに連絡しているが、今後はもっと密にしていく。町と岡山市による行政指導により、業者による木の伐採まではできているが、土砂の撤去が完了次第、安全確認をして帰宅していただく。

答 **町長** 民有地のため、民民の対応が原則。単町でやるのは難しい。国の補助を模索していく。

景観条例の見直しと駅前エリアの開発促進について

問 若者の定住促進による人口増加と高齢者の暮らしやすさの追及、駅のバリアフリー化、商店誘致による駅前利便性と活性化、地下タンク設置による水害対策などの総合的推進のため、第四次総合計画で指定される駅周辺の新定住促進地区の高層住宅化も含めた開発が必要と思われる。住める土地の少ない当町の人口を増やし自主自立の継続可能な自治体として発展させるためには、15mの高さ制限のある景観条例を見直し、弾力的な運用が必要と思うがどうか。

インフラ整備の経費節減にも寄与するとともに、消費増税や東京オリンピック・パラリンピック終了後の景気減速を考えると、すぐにで

も取り掛かるべきと思うがどうか。

答 **町長** 景観に配慮しながら早島らしさを残した町づくりをシンクタンクなどと共に検討している。住宅の高層化自体を否定するものではなく、地域の特性と良好な住環境、定住の誘導促進等も踏

まえて景観条例についても様々な見地から検討していく。

その他の質問

◆「業務のスピードアップとコストパフォーマンスの向上」「お金がないのではなく、お金は作り出すもの」について。



土砂が流れこんだ現場



船越健一 議員

問 保育園の入園時の点数制の公表について

答 来年度から公表する

問 保育園の入園時に点数制をしていると思うが、早島町では公表していない。

答 町長 来年度から公表する。

育休時の退園の改善について

問 育休時の退園への改善は親にとっても子供にとっても大変影響があると思うが、岡山市のように改善する必要があると思うがいかがか。

答 健康福祉課長 待機児童がいる中で実施できない。

問 保育士を養成している学校への訪問はやっているのか。

答 健康福祉課長

問 保育園独自ではやっていると思うが、町としてはやっていない。

答 町長 保育園独自の改善は親にとっても子供にとっても大変影響があると思うが、岡山市のように改善する必要があると思うがいかがか。

答 健康福祉課長 待機児童がいる中で実施できない。

問 子育て支援全般についてのアンケート

トの実施をするのか。

答 健康福祉課長 児童館とも連絡を取り、近いうちにアンケート調査を行う。

体育館のエアコンの設置について

問 避難場所の指定先でもある小学校・中学校の体育館へのエアコンの設置は早急にできないのか。

答 町長 避難場所ということもあり、前向きに考えている。

問 地方創生推進交付金を早島町は使っているのか。

答 町長 地方創生推進交付金については交付を受けていない。8月から当町で

初めて国家公務員を総合政策監として迎えている。持続可能な町の実現に向け、総合戦略として高い出生率を生かし、人口の安定化をはかる。住生活の環境基盤を整える。子育てを支える。子育てと両立する仕事を創出する、質の高い生活をするうえで必要なイ

ンフラ整備をやっていく。新たな児童館、あるいは児童センターの設置を積極的にやっていく。また早島駅も駅舎の改修やエレベーターの設置などを早急に取り組んでいく。



子育て支援を

問 自主防災組織に『地区防災計画』を

答 防災連絡会議での協議をより密なものに

風水害を中心とし避難訓練に

『地区防災計画』の勉強会を

問 9月30日に予定していた総合防災訓練が、7月の豪雨により11月25日に変更されたが、従来とどう異なり、何に重点を置いて実施するのか。

答 副町長 西日本豪雨により多くの市町村で洪水や土砂災害発生した。南海トラフ地震等の発生を想定したものから、風水害を中心とした避難訓練に内容を見直している。

問 早島町地域防災計画の改定を計画しているとのことだが、その主な改定は。

答 町長 地区計画 その下に地域コミュニティにおいての共助による防災活動の推進の観点から、地区防災計画制度が新たに創設されたが、そこまで踏み込んでいくのか。

までは難しいかもしれないが、ハザードマップや防災マニュアルを含め、一般的な改革を考えている。

言ったところで、簡単にできるとは思えない。行政が先導して地区防災連絡会議等で『地区防災計画』の勉強会を開いてはどうか。

その他の質問

◆災害時のSNS活用。

◆災害時の消防団の体制。

◆早島町のホームページについて。

問 早島町防災マニュアルでも、自主防災組織に対し『あらかじめ防災計画をつくっておこう』とある。

答 町長 防災連絡会議は年に3〜4回しか行っていない。そこで協議内容を『防災計画』の勉強

本来であれば、災害時もしくは、災害が想定される場合、地区防災計画に基づき、自主防災組織が早島町と連携して防災・減災に努めるべきではないのだろうか。

いずれにしても、自主防災組織に向かって「さあ、地区防災計画つくってください」って



佐藤智広 議員



自助・共助・公助の3つが相互補完されることで、災害時の対応ができる。

皆様の投稿をお待ちしています

早島町議会広報特別委員会では、これまで以上に皆さまに親しまれる『議会だより』への取り組みとして、町民の皆様が撮影された写真やコメントの投稿を募集いたします。皆様からのたくさんのご応募お待ちしております。

応募規定

- ①撮影された写真（デジタルカメラ可）
- ②サイズは、カラープリントの場合Ⅱ2Lサイズ以上。
- デジタルデータの場合Ⅱファイル

応募方法

- ③未発表のもの

①作品（1人1点）には左記の事項をご記入ください。

住所・氏名・作品のタイトル、コメント（50字以内）

②郵送の場合は、返却希望の有無もご記入ください。

デジタルデータの場合は、メールに添付の上お送りください。

応募先・早島町前潟3600-1
早島町議会事務局 議会広報宛

Eメール

shikai@town.hayashima.lg.jp

その他

①議会だより掲載時には、作品のタイトル、住所（地区名まで）、作者名を掲載させていただきます。

②人物が特定できる場合または個人の所有物である場合は、必ずご本人の承諾を得てください。（肖像権や著作権に関して、早島町議会は一切の責任を負いかねます）

③採用された作品の使用権は、早島町議会広報特別委員会に帰属します。
また、使用に当たり加工させていただきます場合がありますので、ご了承ください。
記念品等はありませんので御了承ください。

平成30年9～10月議会活動一覧

9
SEP.
【9月】

14 金 全員協議会
18 火 全員協議会
25 月 9月定例会（～10月5日）

10
OCT.
【10月】

5 金 議会広報特別委員会
7 日 町民運動会
13 土 早島幼稚園運動会
15 月 正副委員長研修
17 水 議会広報特別委員会
18 木 正副議長就任挨拶（倉敷市）
22 月 総合政策監との意見交換会
24 水 総務厚生常任委員会勉強会
25 木 議会広報特別委員会
31 水 議会広報特別委員会

※記載したものは8月26日改選以降のもので、右記活動以外にも議員各自で勉強会や研修会への参加、議員報告会等があります。

編集後記

このたび町議会議員の改選により、新しい議会が誕生しました。

前回から6名の議員が入れ替わり、顔ぶれもガラリとチェンジ。議会広報特別委員会も新メンバーでのスタートです。

「議会で何を議論しているのか」…。

「議員は何をしているのか」…。全てをお伝えすることはできませんが、私たち委員は工夫しながら『伝える』努力を重ねていく必要があります。

そして何より町民の皆さまに関心を持って『読んでいただけるモノ』をつくるのが肝要。そのためには町民の皆様とのキャッチボールを意識し、町民主役のページも設けていきたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

議会広報特別委員会



百鬼繚乱（百花繚乱）早島の鬼が秋祭りを盛り上げました。